

話題の広場

アナトリア考古学研究所建設 チャリティー講演会

神戸ネオ・トロピカル協会は3月2日、ポートビシアホテルのレインボールームでアナトリア考古学研究所建設のための募金講演会を開催。

トルコ共和国は東西南北の文明交流地点として古い時代の国々がクロスした地域。1万以上の遺跡が点在。その発掘調査の主任、大村教授が発掘を指導するカマンの遺跡は台形の丘で、10m×10mの範囲を掘り起こしていくと三百年前のオスマンが出現、5層取り除くと突然、二千年前のオスマン、18層はすとヒッタイト、それをもはずすとエジプトのヌカベラ時代となるなど、興味深い発掘の話が披露された。その発掘品を日本へは持ち帰ることができないため収蔵するのが「アナトリア考古学研究所」である。

●募金のお問い合わせは●

(財)中近東文化センター事務局
局／東京都三鷹市大沢3・1
0・31

☎0422・32・7111
☎0422・31・9453



左から、神戸ネオトロの会長・藤本ハルミさん、アシックス会長・鬼塚喜八郎さん、三笠宮崇仁親王殿下、大村幸弘さん、日本ネオ・トロピカル協会の森美代子会長



講演後、殿下を囲みネオトロの会員の方々とご歓談のパーティーが開かれた



三笠宮崇仁親王殿下がご臨席になられ、募金のお願いに続き、名誉会長の三笠宮崇仁親王殿下の講演ビデオ「古代アナトリア文明について」が上演された

考古学者の大村幸弘さんが「なぜ日本がトルコで発掘調査を行うのか」と題して講演をされた



第1部若林邦昌支部長(右)
第2部村田正雄支部長
太田敏郎氏／千宗匠／鬼塚神
戸今日会会長(下左より)



ホテルオークラ神戸で開かれた「神戸今日会」設立総会



千宗室宗匠と井戸敏三兵庫県知事(神戸今日会特別顧問)日本文化をもっと大切にしようと握手



講演される千宗室宗匠

神戸今日会3月設立 日本文化に更なる理解を

3月6日、ホテルオークラ神戸・有明の間で、茶道、裏千家鵬雲斎千宗室宗匠を開く神戸今日会(鬼塚喜八郎会長)が設立された。

「戦前、神戸の川崎正蔵や、鈴木米吉、牛尾健治といった財界の方々が神戸今日会を創っておられ、日本文化をよく理解されていきました。

現代は、外国人の方が日本文化への理解があり、21世紀は日本のよさを理解することによって、より国際的になれるのです。淡交会は、世界で一番、質と量ともに立派な文化団体なので神戸今日会(茶道裏千家淡交会神戸第一・第二支部)も茶道を通じて更なる日本文化の理解と活躍を」と千宗匠は設立を喜ばれた。

事務局 千650・000
22 神戸市中央区元町
通5・7・18 リーグレック
元町501号
☎&☎078・335115
078

おいしいメロディー、 召し上がれ

ラロ
L A L O

岩崎智早 ピアノ
西村泳子 ヴァイオリン

ピアノとヴァイオリンの満ち足りた音色が心豊かに導いてくれるラロのメロディー。ライブハウスやイベントコンサートを中心に、オリジナル曲やポピュラー、ロックとのコラボレーションまでと活動は幅広い。枠にとらわれず新しい感性で創作する楽曲はTV・CFやプロモーションビデオにも起用されている。

結成5年。京都市立芸術大学卒業後、再会して意気投合したというふたり。実は音楽の趣味から性格までまるで正反対。

落ち着いた雰囲気ながら、宝塚とアニメ、映画音楽が好きという岩崎さんは、人一倍好奇心旺盛。「音楽によって誰かを癒すというより自分自身が癒されているのかも」と話す、岩崎さんの作る曲にはその人柄からか、誰からも愛されるメロディーが生み出される。一方、コンサートマスターの父親をもち音楽漬けで育ったという西村さんは、現在ラロの活動と別にご主人とロックバンドを組んでも活動中。細い線からは想像できないさっぱりした性格で、そのヴァイオリンの奏でる厚味のある音色と大胆な発想に驚かされる。

「それぞれのアイデアを拒まないでまずやってみる。そうしたらまるでエッセンスが加えられて化学反応をおこしたみたいにおいしいメロディーが生まれる」と西村さん。2つの楽器という限られたアイテムは、ふたりの力でどこまで広い世界が表現できるかという夢につながる。

これからの活動は?の問いにはふたり顔を見合わせて、「音楽を通してのひとりの出会いが楽しみ。いつか外国に行って演奏してみたいな」。

ピアノはぼくの大親友！

松永貴志

ジャズピアニスト



「高校生のプロジャズピアニスト」松永貴志さん。昨年、地元芦屋ルナホールから鮮烈デビューして約半年。弱冠15歳にして、超難曲とされるG・ガーシュウインの「ラプソディー・イン・ブルー」への果敢なる挑戦は、各紙で絶賛された。さらに、「憧れのライブハウスだった」という大阪ブルーノートに最年少出演。

また、日野皓正ら有名ミュージシャンとの堂々の共演など、その高い技術と早熟した表現力に、21世紀ジャズ界を担う新鋭と期待されている。

ところが、ステージ上の若き「天才ミュージシャン」は、「心からピアノを弾くのが嬉しくてしょうがない！」といった笑顔で、この状況さえ純粋に楽しんでいるふうだ。

「ジャズが大好き。ぼくが弾くことで同年代のひとにもたくさん聴いてもらえたらなあ」と話す。

父親の聴くジャズを体で感じて育ったという松永さん。楽譜もよめないうま耳で聴いた音を鍵盤で弾くようになったのが5歳の頃。9歳で大人も参加するオルガンの全国大会でグランプリを受賞した。11歳のとき関西屈指のジャズ音楽家北野タオ氏に師事し、その才能を開花させた。「ジャズは即興の世界だけど、自分のなかにどれだけ引き出しを持っていくかが勝負。その引き出しを増やすために練習してるんです」。朝起きて、学校の昼休みに、帰宅後、夜寝るまでの時間、食事のとき以外はずっと「ピアノと遊んでる」。松永さんにとって、ピアノは友達だから。「高校卒業後はアメリカに行きたいな。それで、世界一のジャズピアニストになるのが夢なんです」。

長年の夢を実現させる 会社でありたい。 快適な暮らしをリフォームで。

町場の工務店と連携して
新しい情報を発信

—— もともとはベニヤの卸し業者ですね。

灰原 主流は新建材商品と住宅設備機器の卸し業ですね。メーカーは松下電工をメインとして、永大産業、東陶、大建工業、サンウエーブ工業、ノーリツなど大手メーカー14社の商品を扱っています。

今はシステムキッチンなども成熟期に入ってきています。各メーカーによってそれぞれに特徴があるんですが、ほぼ横並び状態で、逆にいうとある基準以上の性能やデザインが揃っていないとお客さんの要望に添えないんですね。

例えば食器洗い機では、洗濯機が全家庭に普及しているように、付いていないとお

かしいぐらいですから。

本来、商品を工務店に卸すのが本業ですが、別会社のキッチンライフでは、増改築の部分を担当してまして、仕事を直接受けて工務店と連携してリファインシヨップ（松下電工の商標で全国に500店舗ある）として営業しています。

仕事づくりをグループ化していったら、工務店さんが受注しやすいような体制にしたいと思っていますね。そのための企画、情報発信をやっていきます。メーカー直接の納品なので商品情報や市場状況とかは早く入ってきますからね。

今は新築が少なく、リフォームが多いんですよ。震災後に一挙に建てなおして、3年ぐらいで終わってしまいましたからね。工務店では3割が新築、7割がリフォーム

灰原昭夫 昭和34年、神戸市に生まれる。近畿大学卒業。インテリア会社でシステムキッチンの設計・施工にたずさわリ、昭和37年創業「まるはベニヤ商店」の家業を継ぐ。平成9年、取締役社長に就任。リフォームの設計アドバイザーをする業務にも力をいれ地域の活性化を計っている。



ですね。

念願の床暖房や 明るいキッチンが人気

—— 新しい機能の商品がどんどん出てきていますから、リフォームも情報産業ですね。灰原 そうなんです。今人気の商品は、ワックス不要の床材や床暖房システムとかITヒーターのシステムキッチンとか、システムバスですね。

システムバスは、在来工法で入れ替えよ



誠意をもってお客さまに接する営業の伊東千恵子さん。きめ細かいアドバイスと女性の生活感が施工主の希望を的確にとらえていく。



「介護保険を利用してリフォームすることも可能なのでリファインショップの取り組みは高齢化社会に根ざしたシステム」と、灰原照夫さん

うとしたら一回り小さくなってしまっていたのが、現状の大きさでリフォームできるような商品がでていますね。ですからあきらめていた方もきれいな風呂を簡単に手に入れることができますね。浴室で一番人気があるのは温風乾燥ですね。簡単に取付けられるので、カビ対策になりますから。マンションリフォームが多いのですが、昔は台所が奥の暗いところにありましたが、今は家族で楽しめる一番いい場所にキッチンとリビングがあります。

以前はこちらから色々提案させていただいていたのが、お客さまの知識が豊富なので最初の予算より上回っても快適な暮らしにお金を使われるようになってきています。価値観の変化というんでしょうか。

—— 世代的にはどのあたりですか。

灰原 40代ですと二世帯住宅ですね。多いのは50代以上の方がほとんどですね。リフォームなさると奥さまがきれいになられるそうですよ。

一戸建ての場合、簡単に引越しもできないので、20年ぐらいクロスを張りかえてないとか、荷物を動かすのが大変だからとかで我慢なさってるんですが、動かしながら張るので案外簡単なんです。伊東店長はいろんなケースを見てきますので収納の

アドバイスなども喜ばれているようです。窓の拭き方とかのコツを教えて差し上げるとかね。

それと増改築の場合、契約した段階がお客さまが一番ハイテンションなときで、完成すると満足頂けるのですが。工事に入ると音がうるさかったり埃だらけになったりするもので、だんだんテンションが下がっていく、男性が担当しているとクレームが発生したりするんですが、女性ですとそここのところも柔らかくて、お友だちとかに誉めてもらおうとすごく幸せな気分になられてよかったとおっしゃるんですよ。

今まで大切にしまわれていた食器やガラスを全部飾っていらっしゃいますよ。

趣味は経済小説を読むこと

—— さてお遊びのお話になるんですが。

灰原 学生のと時から家業を手伝っていましたが、遊ぶより仕事をしてたんでしょかね。趣味はゴルフぐらい。

それと本が好きですね。推理小説と経済小説が好きで、今読んでいるのは大蔵省の話ですが、よくこれだけ取材してるなど感心してらんです。大会社の仕組みや取り組み方なども参考になります。

座談会

写真／向昭博 米田英男

「くつのまちながた神戸」の将来を語る

「くつのまちながた神戸アウオード」をきっかけにシューズプラザが神戸のファッションリーダーたちによって大きく変化し、神戸の靴のあらゆる活動の拠点になろうとする始動年。日本一の靴生産量を誇る長田が、地元ファッションメーカーやブティックなどと直接取引ができれば神戸ファッションのさらなる活性化にもなるだろう。

座談会出席者

西田葉二（Club Tools オーナー）

縄手真弓（カワノ株式会社企画部）

佐々木直人（神戸芸術工科大学4回生）

藤井 愛（Be Loved Lip オーナー）

岸上龍平（神戸ファッション協会）

くつのまちながた神戸 アウオード開催への道

まずは「くつのまちながた神戸アウオード」について、お話ししていただけますか。

岸上 もともととはこれまでも毎年シューズショーを開催しているのですが、同じことをずっとやりつづけても仕方がないということで「くつのまちながた神戸アウオード」の企画がもち上がったのです。シューズショーをやるにしても、ケミカルシューズのメーカーさんも最初は面倒

くさいというのが本音だったと思うのですが、回数を重ねていくうちに、だんだんと楽しみにしてくださるようになってきたように思います。

だから次の展開として、学生も絡めたファッションコンテストをスタートさせてみたのです。学校関係の方々とつながりも増え、靴の勉強をしている学生が多いということがわかってきました。

ファッションという服だと思いがちですが、実際に若い方はカバンや靴、アクセサリーに大変興味をもっているようです。そしてその割に

はそういう若い人が注目を浴びる場が少ない。

ケミカルメーカーと学生の方々とコラボレーションすれば面白いことができるのではないかとということになったのです。

ただシューズショー用のサンプルを出してもらうだけでも大変だったのに、靴そのものををつくってもらうというのは無理ではないかと思っていました。このシューズプラザには11社のメーカーが入っているのですが、全社が賛成してくれたのです。これには我々自身が非常に驚いたのですが、メーカーさんにも若い方のデザインに興味が大いにあったようで、この企画が実現したのです。

——実際に学生で参加した佐々木さんは、今回の作業を通してどのような感じでしたか？

佐々木 僕はまだ学生なので、自分

のデザインしたものが実際に本物の靴になるということが驚きであり、いちばん嬉しいことでした。

ただ実際にデザイン画を靴として制作していくなかで、そのまま形にするのは不可能だという指摘を受けたこともあり、机上のデザインと実物とのギャップを知ることができました。

靴というものはどんなパーツで、どんな順序でつくられ、人間の体重がどの部分にかかるということや、見た目の雰囲気がどうなるかなど本当にいろいろ勉強させてもらったと思っています。

——つくる側の立場で縄手さんはどうでしたか？

縄手 つくる側としてはすごく難しい企画でしたね。学生さんということとで、実際に靴をつくったことのない人がほとんどですから。



岸上龍平さん。神戸ファッション協会主催のファッションショーなど数多くの企画をプロデュース

私のところで選ばせてもらった学生さんは、実際に自分でも靴をつくれる女の子だったのですが、実際にメーカーで生産ラインにのった実践の知識はもっていませんので。

靴をつくるにはまずデザイン画を描いて紙型に直し、それを実際の材料で裁断し、機械でつり込んで靴になっていくのですが、その間の作業がわかってないので、どうして手ではつくれるのにメーカーではつくれないのかという話になってしまうのですよ。それを一から説明してあげる必要がありますね。

——普段、縄手さんは会社でどのような仕事をしているのですか？

縄手 私は企画室にいますので、普段

からデザイン画を描いています。実際に学生さんが描いてきた何枚ものデザイン画を見ていると、本当に夢のある靴だなと思いましたね。

ただメーカーとしてはやはり売れる靴をつくらなければなりません。そのあたりで私としても、とてもいい経験をさせてもらったと思っています。

私は靴をつくりたいと思ってメーカーに就職したのですが、靴が好きで選んだ仕事なので、学生さんと接することで初心に戻れたような気がしました。

それぞれの靴への思い

——西田さんはこれまでにたくさん



の靴をデザインしてきたと思いますが、現在はどのような仕事をされているのか教えてください。

西田 僕は現在ふたつの仕事をしているのですが、ひとつは縄手さんのように、長田のメーカーさんに入ってデザインをしています。もうひとつは規格にあわない靴を自分でつくっているのです。

——オーダーメイドですね。

西田 そうです。メーカーがつくる靴は、極論を言うと100人中ひとりかふたりはぴったりと合います。あとの90人以上の人はぴったりとは合っていないのです。

そのなかで我慢して履ける人が80パーセントぐらいです。残りの10パーセントの人たちは履いている

と足に支障が出てくるのです。そんな人が僕のところを訪ねてくるのです。いまのところ月に10人ぐらいは来てます。

来たひとに合ったオーダーメイドなので、自分でスケッチを描いてくる女の子もいますね。メーカーと違って量産ラインなどは関係ないので、ほぼその人のイメージ通りの靴をつくることができます。

——藤井さんはどういう状態で靴を仕入れているのですか？

藤井 私にはまだ経験もコネクションもあまりないので、雑誌を見て直接メーカーに電話をして、卸をしてもらえるかどうかという交渉をしています。

それでOKが出れば実際に商品を見に行って話をすすめます。いまは大阪から一社だけ卸してもらっています。

——せっかく長田にたくさんさんのメー

縄手真弓さん。シューデザイナーとしてカワノで活躍。準グラプリの作品を制作する





カーがあるのに、どうして大阪とか東京のメーカーとの取引が最初になったのでしょうか。

藤井 とくにどの靴というかわりはなく、店のコンセプトとあうものがあればどの靴でもいいのです。去年の9月に店はオープンしたのですが、メーカーとのつながりがないところからのスタートでしたから。

それにいまは服がメインで、やっとオリジナル商品をつくりだしているのですが、将来的にはぜひ靴や小物、カバンもオリジナルをつくっていきたいと考えています。

神戸はパンプス 東京はカジジュアル

これから春夏にかけてのファッションシューズの流行と傾向はどのようなものなのでしょう。

西田 靴には流行があるようではないのです。“これが売れる”“これが流行する”ということが一部ではあるのですが、全体的に見て実際にはないようなものなのです。
司会 用途に応じて多様化しているということですね。

縄手 ファッションが多様化してま
すから、年齢やライフスタイルによ
って求められるものが全然違います
し、地域によってもかなり違ってき
ます。

例えば神戸ではヒールの高いパン
プスなどが強いのですが、東京では
もっとカジジュアルなものが売れてま
すね。

岸上 ナイキとかの影響で東京の方
はスニーカー系が強いですね。

縄手 大きな傾向として今年はボヘ
ミアンなどナチュラルなものが流行
りそうです。色としては白ですね。
でも靴だけで流行というものはない
のです。洋服とのコーディネートが
重要ですから。

そして流行色にはかなり左右され
ていると思いますね。赤の服が流行
ついているときには赤い靴が売れると
いったように。

昔から神戸にはカラフルな靴が
多く並んでいたように思うのです
が。

岸上 もともとカラフルな靴という
もの自体、神戸にしか売ってなかつ
たのです。わざわざ神戸に靴を買い
に来る人がいたぐらいですから。

西田 神戸はケミカルが中心ですか
ら、合皮屋さんがいろいろな色を出
してくるのです。それを使って靴を
つくり出したのがカラフルな靴の始
まりでしょうね。

岸上 東京の方は茶と黒の皮が中心
だったので、そういった環境の違い
が大きいそうですね。それと神戸の
方が流行に関してはかなり自由とい
うか、あまり左右されないところが
ありますよね。

縄手 神戸はコンサバですね。神
戸エレガンスという言葉があるぐら
いですから。

まちで女の子ふたりがまったく同
じ格好をしているのをよく見かけま
すが、これは東京ではありえないこ
とですよ。

藤井さんは甲南女子大学だそうで
すが、甲南といえは神戸エレガンス
のハシリですね。「南女持ち」とい
うカバンの持ち方を流行らせたく
らいですからね。

藤井 最近では銀座などでも神戸系
のお店が売上げを伸ばしてきている
ようですよ。

縄手 雑誌の影響がかなりあったの



佐々木直人さん。靴のヒール部分のデザインが広
がれば、もっとおもしろい靴が誕生すると意欲的

でしょうね。

岸上 結局、神戸は独自路線でいく
と思いますよ。

縄手 そうですね、神戸だけ市場が
少し違いますよね。うちの会社は得
意先が東京メインなので、市場調査
なども東京で行います。

メイנסポンスナーが渋谷系、原宿
系なのでそういったお店に行くので
すが、東京から戻ってきて三宮のお
店などにリサーチに行くと、神戸は
東京とはまったく違う印象を受けま
すね。

神戸はやはり神戸エレガンス系が
主流ですが、渋谷はもっとカジジュ
アルです。

藤井 最近、雑誌などではエレガ
ンスの波は一通り過ぎて、渋谷系のカ
ジュアル路線に移りつつあります
ね。ヒールが高くてシンブルなパン
プスなど「もういらない」と言っ

る子が多いですから。

もっとカジュアルなものを探している人が多いように感じます。

縄手 エレガンスはコンサバチックなところからきているので、少ししたら飽きてくるのですよね。

岸上 カジュアルとはいっても、神戸で人気があるのはやっぱりきれいなものではないですか？

藤井 そうですね、ラインはそのままアイテムや素材が変わってきてますね。スウェット地やデニム地なんかは人気あります。

岸上 ジャージ系、デニム系のカジ

ユアルファッションは相変わらず強いですね。

—— そんななかで西田さんの仕事は、流行に左右されることなく完全に独自路線ですね。

西田 メーカーではそうはいきませんが、オーダーメイドでは流行は関係ないですね。

人それぞれの靴がありますから。最終的には人が履く靴をつくらなければなりません。例えば23というサイズがあっても、これを全員に合わせるのにはちよつと無理があります。

業界全体が実際の靴づくりの勉強や見直しを、考えていかなければならない時期にはきているのだと思いますよ。

いままではつくればなんでも売れていたものが、最近では中国製品などの質も良くなってきていますから。それじゃあ、日本人に合う靴はどういうものかという部分を考えていかなければ、駄目なのだと思いますね。

長田のケミカル産業 活性化への提案

—— デザイナーの立場から企業への要望や提案などがあるのでしょうか。

佐々木 神戸はとくにエレガンス系が多いですね。以前にメーカーなどを対象に調査研究をしたことがあるのですが、どこのブランドでもエレガンスという言葉が出てきました。

そして毎回デザインポイントについて質問したのですが、ブランドは違っても靴のデザイン自体はほとんど同じだったのです。

今回、僕はデザインを3点出させてもらったのですが、僕も基本的にはエレガンスをベースにデザインしました。

そしてヒールをポイントにたくさん

んどが実現できないものだったので。「こんな靴はつくれない」と言われました。

ですから今回のデザインも、ヒールの部分はほとんど変更になってしまったのです。そこで感じたことは、もっといういろいろなヒールがつくれるようになれば、デザインももっと広がり、いろいろなタイプの靴をつくれるのではないかといいことでした。

西田 プラダなどはデザインしたものを却下することなく、とりあえずそのまま靴に再現するらしいです。だからあれだけ人気が出たのだと思います。

岸上 靴業界には資材屋さんがあり、メーカーがあり、縫製屋さんがありと、ほとんどのところが分業でつくっています。カワノさんのような大きなところでもパーツは別の業者ですよね。

藤井 愛さん。学生ながらフックオナー。長田でオリジナルな靴を口口口で注文できればと



縄手 そうですね。ヒールなどは別のところでつくってもらってます。

岸上 そうなってくると、1社だけの問題ではなくなってくるので、ヒールの部分の改善もできないことはないけど、なかなかやってみようという話にまでならないのです。だからこそいま佐々木くんが言ったことは、とても大事なことだと思うのです。

西田 佐々木くんにとって大事なことではなく、いまの長田にとって大事なことですね。

岸上 そうです、でも決して乗り越えられない壁ではありません。現実につくってみて評判が良ければ、やってみようというところが増えてくるのだと思います。まずひとつずつ実績をつくるところまでが大変なのです。

——新しいアイデアを実験するような機関が、長田にも必要なのでしょうか。

岸上 それほど難しいことではないと思うのです。協力してくれる資材屋さん、パーツ屋さんがみつければいいわけですよ。プラダにできたこ

とが長田でできないということはないですから。

マーケットで売れるまでの順番はあると思いますが、原点の部分でそういった試みをしていかなければ、売れ筋はできても新しいものは生まれませんよね。

——長田は昔から試行錯誤はしているように思うのですが。

岸上 今回の「くつのまちながた神戸アウード」などをやってみて思ったのですが、長田は決して保守的



なまちではないと思いますよ。学生さんと共同作業とはいえ、片手間でやり遂げられるようなことではありませんから。なかなかここまでできないですよ。

西田 時代背景もありますからね。

これが2、3年前だったら、実現できたかどうかはわからないですよ。縄手 少しでも変わっていかなければならぬと思っています人は、多いのだと思いますよ。

——藤井さんはブティックオーナー側から見ると、長田のメーカーさんがどうなってくれるとものと注文が出しやすくなると思いますか。

藤井 そうですね、例えばインポート商品などは強い小売店では手に入らないものが多かったりするのでですよ。それで、オリジナルの服を作るときでも、トップブランドがコレクションしているものを雑誌から切り取ってメーカーに渡し、パターンを描いてもらうというような依頼を直接しているのですが、靴でも小売店から直接そういうことができればいいなどは常々思っています。

でも実際にはロットとか数字的な問題が出てくると思うのです。カバンや靴などのトータルファッションとして、オリジナルティを出せれば



西田憲一さん。既成靴が合わないひとに手作り靴を制作。シューズプラザに店がある。

いいなと考えていますから、自分たちのオリジナルをつくることで、地元を活用できるようにすれば、いちばんいいと思っていますのですが。

縄手 最近はセレクトショップがかなり多いようですが、そのなかで自分のお店らしさを出すにはやっぱりオリジナル商品だと思うのです。

そこで問題になってくるのは藤井さんの言うとおりロットの問題ですね。発注足数に対する費用と手間、利益の兼ね合いがうまくいくのなら勿論オリジナル商品も扱います。

藤井 それは洋服中心でやっているところでも、オリジナルのオーダーはとれるものなのですか？

縄手 そうですね。実際にいまうちの会社もワールドさんとの取引はあります。小ロットでもやってみようというメーカーもあるのだと思います。だからメーカーとどんどん話を

新しいアイデアをとり入れた
今までにないデザインを長田から発信したい

していくべきだと思いますよ。どこから話につながるかわかりませんからね。

シューズプラザの意義と今後の展望

——シューズプラザをどう活用していくか、どのような場所にしていきたいか、それぞれの立場でお願いします。

藤井 いままではそこまで靴に執着して考えていたわけではなかったのですが、ファッションの一部として真剣に取り組めば、靴は重要なポジションの商品です。ですからまずシューズプラザをどのように活用させていたただけるのかということを、教えていただきたいのですが。

西田 僕はテナントで入ってるだけですが、くつのまちながた神戸株式会社がいける企画をもってきてくれますね。ただ外部に対してはシ



ューズプラザもまだ模索中な部分が多い場所ですね。

縄手 ここができたときに第一の目的は、長田の靴を長田で売っていくことだと聞きました。それとは別に長田の産業を、広く一般に公開し紹介する場でもあると思うのです。

例えば靴をつくっているところを見学したいと思えば、ここでメーカーを紹介してもらえはまずです。勿論、藤井さんのように卸を探している人なら、仕入先の紹介なども問い合わせたいと思いますよ。

長田の靴に関することはなんでも聞いてもらえたいと思いますし、そういう場所であるべきだと思います。

います。

岸上 今回の「くつのまちながた神戸アワード」では、実際に学生を送り込むことにより、学校関係もシューズプラザの存在を認識することができました。しかしまだここはそれほどオープンになっていないように思います。もっと宣伝をして、存在を知ってもらうことが必要でしょうね。

佐々木 一般人から見た意見なのですが、今回のイベントは全9校、11人の学生が選ばれて開催されました。これをもっと広くアピールして、もっとたくさん学生のデザイン画を集めればどうかと思うのです。

そして一般の人たちがシューズプラザを訪れたときに、商品とは別にサンプル品を展示してほしいのです。ミュージアムのようなものがある方が、一般の人は楽しめると思うのです。

例えば、学生の作品を見て、一般の人の感想やアンケートなどを採れるようにすれば、交流も増えますし、もっと楽しい場所になると思うのですが。

縄手 私は皆さんに、靴に対してもっと興味をもってもらいたいと思いますね。

佐々木くんが言っていたように、

もっと一般の人にもわかりやすいような靴の説明や、足の構造などを説明する場所があればいいのと思います。もっと宣伝をするべきだと思います。

西田 実際にメーカーは売れ筋しかつくりませんから。僕が個人的に思っているのですが、例えば車椅子の人の靴などは、完全にターゲットから外れてしまっていると思うのです。車椅子でも靴のお洒落をしたいという人はたくさんいます。「くつのまちながた神戸」とうたっている以上は、どんな人が来ても、ここなら合う靴が足ぐらい見つかるようにしておきたいですね。

縄手 靴のことならなんでも任せろと言えるぐらい器の大きなところではないと意味がないですからね。

岸上 シューズプラザには人材がたくさんいますし、いろいろなメーカーが入っているので知識や情報もかなりのものです。それをセミナーなどで一般に広く広めていくべきだと思いますよ。

今回の「くつのまちながた神戸アワード」はその入口だったのだと思います。

——この座談会を機に新しい展開が生まれることを期待しています。

有馬歳事記

有馬の桜はまだこれから

兵衛向陽閣のしだれ桜 しつとりお花見



見事な枝振りのしだれ桜

毎年桜の時期になると、「しだれ桜は咲きましたか？」との問い合わせがあちこちから来るといふ。有馬温泉の旅館・兵衛向陽閣のしだれ桜は、有馬温泉の春の風物詩のひとつになっている。

くわしい年代はわからないが、80年以上前から向陽閣の庭に立っている。春には、庭をおおいつくすような見事な枝振りに満開の花を咲かせる。建物の中央に位置する庭にあるので、館内のいたるところからその姿を眺めることができる。喫茶「グリーンテラス」の窓から、新しくオープンしたメインダイニング「蘭」の窓から、大浴場の前の待合スペースの大きな窓からも。桜が咲くと、その下に緋毛氈が敷かれ、お茶とお菓子が食べられる。

神戸よりも少し温度が低い有馬では、桜の開花も少し遅め。向陽閣のしだれ桜はそれよりさらに遅い開



メインダイニング「蘭」の広い窓からしだれ桜が望める

花ということなので、今年は4月の中旬から中旬にかけてが見頃とか。善福寺の樹齢400年のイトザクラをはじめ、有馬川など、桜の美しい有馬温泉。神戸の桜が葉に変わったら有馬にと、桜めぐりをするのもいいかもしれない。



有馬川河川敷では桜まつりが行われる

有馬一望・歴史の名湯

HYOE

兵衛
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)
URL <http://www.hyoe.co.jp>



有馬温泉 月光園

珊瑚館

KOROKAN

TEL (078) 903-2255

姉妹旅館 湯の山荘

TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり味に集う
ARIMA

SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB

TEL (078) 903-1024



攝津 有馬
会 所 功

静寂さにつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

りょう ふう かく
陵 楓 閣

TEL (078) 904-0675

そぞろ歩きの宿泊客にも大人気

駅前「有馬ラー麵 青龍居」がオープン

神鉄「有馬温泉」駅前、湯けむり公園の前に「有馬ラー麵 青龍居」がオープンした。「せいいりゅうきよ」と読み、青龍、白虎、朱雀、玄武の四神のうち、東の神「青龍」



たっぷりとした趣味の良い器に盛られている

から名前がきた。この店の場所は有馬の東に位置する、という話。小料理屋か京町家を思わせる格子戸がついた店構えで、店内は落ち着いた風合いの木のカウンターとテーブルがあり、涼やかな雰囲気。

ラーメンのメニューは青龍居醤油ラー麵（650円）のみ。チャーシューが角煮風でとろけるようにうまい。あつさりしているので、夜に温泉街の散歩を楽しむ旅館の宿泊客にも大人気とか。お昼はラーメン・ごはんセット（平日14時まで）がある。ほかには山東水餃子（600円）、



ごはん（150円）、麒麟ビール（550円）。有馬温泉のメインストリートに、ちよつと小粋なラーメン屋さんが店をかまえたことで、有馬の街の雰囲気少しグレードアップしたようだ。（営業時間・11時30分～15時／18時～翌1時）

黒い木のカウンターとテーブルがあり
すっきりとした店内



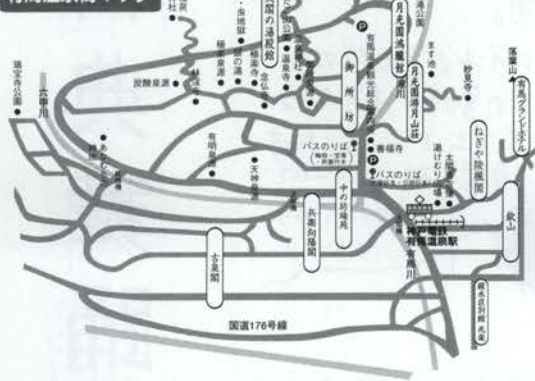
「有馬わんだガーデン」入園券と神鉄往復乗車券がセットになったお得なチケット期間限定発売

神戸電鉄では、有馬にある犬のテーマパーク「有馬わんだガーデン」の入園券（通常大人1800円）と神戸電鉄各駅から有馬温泉駅までの往復乗車券がセットになった「わんだフルチケット」を発売。チケットは大人1800円、子供900円。たとえば新開地から有馬温泉までは往復1320円、それに入園券がついて…となるとこれはかなりお得。

すでに販売は開始されており、5月6日までの限定発売。

有馬温泉駅から「有馬わんだガーデン」までは有馬ループバス（大人100円、子供50円）の利用がいちばん便利。帰りは各旅館の入浴つき夕食プランなどをチェックしてゆつくりするのがおすすめ。お金をかけずに有馬をぜいたくに楽しんでしまおう！

有馬温泉街マップ



有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいり亭「華達」で!!
（昼5000円～、夜8000円～）
有馬温泉 政府登録国際観光旅館
銀水荘別館

北楽
ちやうらく

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

日本の伝統
数寄屋造りの館

欽山

TEL (078) 904-0701
チェックイン13:00、アウト12:00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅たようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781
会議セミナーからご家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

ひらけ大観劇

光り輝く南インド古典舞踊の世界



衣装はサリーを仕立てたもの。あそびにゴールドのホーダーが入っているのが「バラタナティヤム」の衣装の特徴。
足首に鈴がらついて足を踏みめると鈴の音がひびきわたります。

踊りの神様
シヴァ・ナタラージャ
の像

舞台に必ず
この踊りの神様の
像を置いて
踊ります。



Nataraja

手足の
指先を
赤く塗るのも
とくちょう



ゴールドのアクセサリーを
たくさんつけて
豪華絢爛。

目のふちどりもインドのお化粧の
特色。目の動きを決まっている
ので目玉を上・下・左・右に動かす
練習もある。(でもこれで
目の疲れが「やわらく」
とか…)

インド料理やインドの雑貨、絵画などは日本でも大人気。今回はインドの古典舞踊をご紹介します。先生は古典舞踊のひとつ「バラタナティヤム」ダンサー・藤原真奈美さん。

インド古典舞踊には4つの踊りがある。中でもいちばん古い、南インドのタミルナードウ州の舞踊。古くはきびしい練習を積んだ巫女さんが寺院で踊っていたもので、ヒンズー教の神々にささげる聖典に音楽が付き、踊りができた。南インドの古典音楽にあわせて踊られる。基本的には女性のソロの踊りで、寺院の彫刻からとられたという「アラマンデー」という基本のポーズをきちんと守り、腕の高さ、角度、手の動き、目玉の動きまで、きびしく形が決まっている。

インドでもこの舞踊を習う人はそう多くはなく、神戸に住むインド人の中には藤原さんに「バラタナティヤム」を習っている人もいたそう。藤原さんが踊りの師であるヤシヨー

Bharatanatyamの基本

目や眉の動きも
きちんと
決まってい
ます。

お腹を中心に
腕のまわす角度なども
きっちり決まっ
ています。

『アラマンディ』という
基本の
体勢



「決まりごと」のつみかえお
おに完成はしていいけど
結果までの過程の楽しさ
を矢口ました。(と生徒さん)

「からだを動かすのでは
ない。コントロール
するのです…」
と藤原センセイは
ニッコリ笑って言った
…。



「ムドラ」という
指の動きで
言葉や神話などを
表します。



PROFILE

藤原真奈美

(ふじわら・まなみ)

1990年インド古典舞踊・バラ
タナティヤムを始め、インド・
チェンナイで舞踊家K. P.
ヤショウダに師事。関西日印
文化協会主催インド総領事
歓迎パーティーをはじめ、日印
文化交流、アジア交流イベン
トなどに出演。また自主公演
「南インドの古典舞踊をまる
ごと味わうサロン」などのイ
ベントを明石市のふれあい会
館や神戸のインドクラブなど
で開催。

●藤原真奈美さんのレッスン教室
火曜日 16時〜18時 明石市東仲ノ町 ふれあ
い会館 月謝8000円
●「南インド古典舞踊を体験しよう」バラ
タナティヤム1日体験サロン 4/20(土) 14
時〜16時 六甲アイランド「WEST COU
RT4」大人10000円 小中高生5000円
■お問い合わせ(マルガダンスユニティ)
06・6577・3450
HP <http://homepage2.nifty.com/mnaga/>
Email mnaga-m@nifty.com

ダさんの踊りを初めて見た時、その
光り輝く踊りに「感動した、ではな
くて元気が出てきた」と話す。イン
ド古典舞踊は、ダンサーの全身から、
踊る喜びや生きていく喜びまでもが
伝わってくるような気がする。